

令和2年1月24日
愛媛大学

公開シンポジウム「食がつくる共生社会」を開催

いま「交流食堂」や「ふれあい食堂」と呼ばれる“交流拠点”が広がっています。その背景には、貧困と地域関係の希薄化がうかがえます。栄養不足の食事でご飯を過ごす人がいる一方、多くの食品が“ロス”として捨てられる現状もあります。

愛媛大学社会共創学部（「食がつくる共生社会」シンポジウム実行委員会）では、こうした問題について「食がつくる共生社会」と題して「食」を切り口にシンポジウムを開催します。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

日時：令和2年2月1日（土）
13:00～16:00（12:30 開場）

場所：愛媛大学城北キャンパス
愛大ミュージズ2階 M24 教室

対象：共生社会について興味・関心のある方
※プログラムは、添付のチラシをご参照ください。

定員：70人

参加費：無料

事前申し込み：不要

当日申し込み：座席に余裕があれば入場可能

駐車場：無（お近くのパーキング等をご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。）

※報道機関の方で、車で取材に来られる場合は、正門警備員室で会社名等をご記入のうえ、
来客用駐車場を利用してください。



※送付資料3枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先
社会共創学部地域資源マネジメント学科
講師 山藤 篤
TEL・FAX：089-927-9111
Mail: yamafuji.atsushi.qx@ehime-u.ac.jp

公開
シンポジウム

食

がつくる

共生社会

— 四国におけるフードバンクとふれあい食堂 —

< 報告① >

「食品ロスとフードバンク (1)」

難波江任 (eワーク愛媛)

< 報告② >

「食品ロスとフードバンク (2)」

川上健太 (ワーカーズユープ)

< 報告③ >

「久米ふれあい食堂の取り組み」

仙波英徳 (久米ふれあい食堂)

< 報告④ >

「ふれあい食堂が及ぼす効果」

宮崎真美 (愛媛大学社会共創学部4回生)

< 総括 >

香月敏孝 (愛媛大学社会共創学部)

司会/山藤篤 (愛媛大学社会共創学部)

2月1日(土) 13:00~16:00

愛大ミューズ2階 (M24教室)

参加無料・入退場自由。お問い合わせは山藤【yamafuji.atsushi.qx@ehime-u.ac.jp】まで。

主催：愛媛大学社会共創学部・食がつくる共生社会シンポジウム実行委員会

2020シンポジウム「食がつくる共生社会」

いま「交流食堂」や「ふれあい食堂」と呼ばれる“交流拠点”が広がっています。
その背景には、貧困と地域関係の希薄化がうかがえます。栄養不足の食事で過ごす人がいる一方、
多くの食品が“ロス”として捨てられる現状もあります。

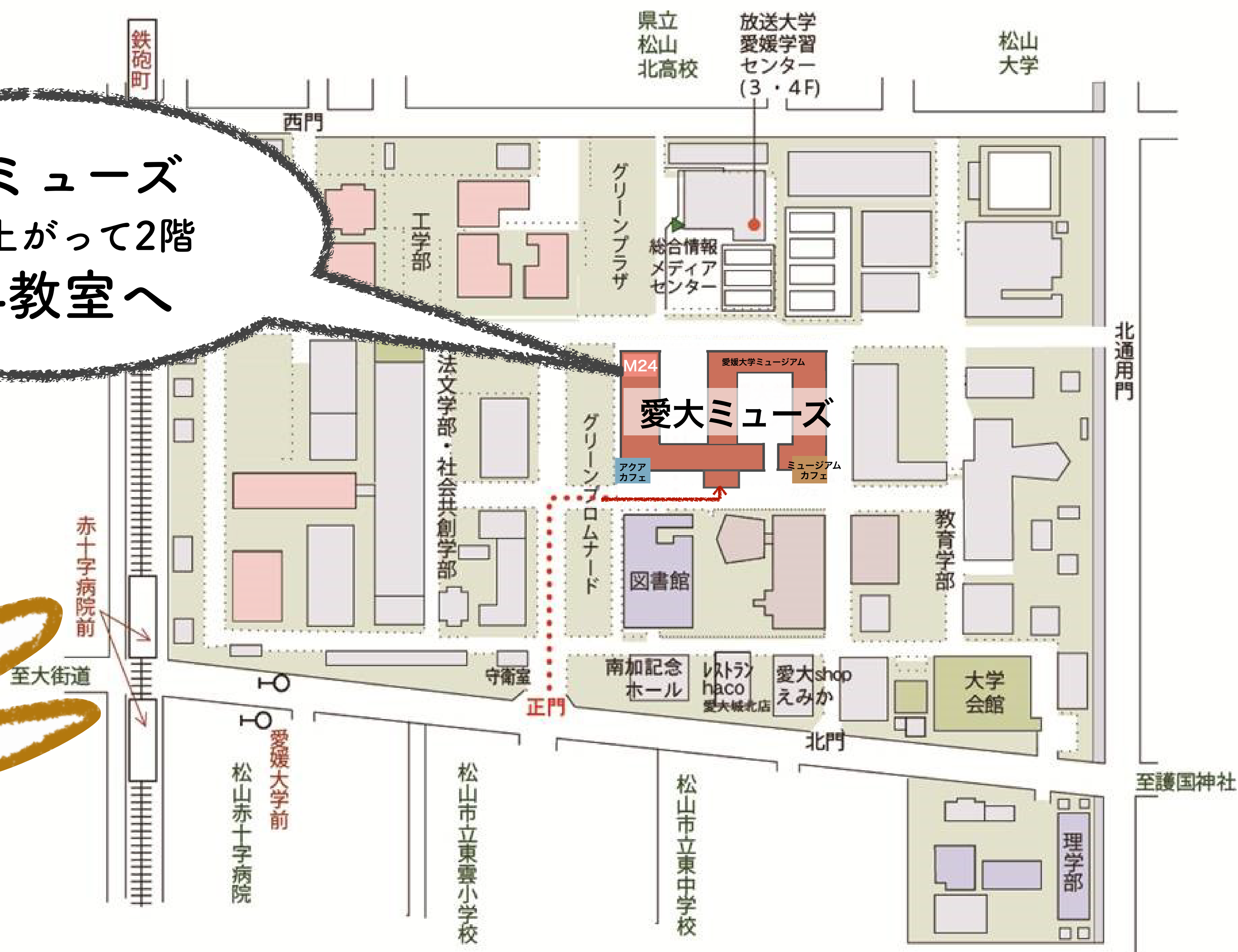
こうした問題について「食がつくる共生社会」と題して「食」を切り口にシンポジウムを開催します。
「地域を考える」新たな一步を踏み出すきっかけになる事を願いつつ皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【スケジュール】

- 13:00～13:10 社会共創学部長挨拶 西村勝志（愛媛大学社会共創学部長）
- 13:10～13:40 「食品ロスとフードバンク（1）」難波江任（eワーク愛媛）
- 13:40～14:00 「食品ロスとフードバンク（2）」川上健太（ワーカーズコープ）
- 14:00～14:30 「久米ふれあい食堂の取り組み」仙波英徳（久米ふれあい食堂）
- 14:30～14:50 「ふれあい食堂が及ぼす効果」宮崎真美（愛媛大学社会共創学部4回生）
- 14:50～15:00 休憩
- 15:00～15:30 会場ディスカッション
- 15:30～15:40 「全体のまとめ」香月敏孝（愛媛大学社会共創学部）

【会場マップ】

愛大ミュージアム
階段を上って2階
M24教室へ



お問い合わせは山藤【yamafuji.atsushi.qx@ehime-u.ac.jp】まで。

主催：愛媛大学社会共創学部・食がつくる共生社会シンポジウム実行委員会

このシンポジウムは令和元年度社会共創学部学部長裁量経費の助成を受けて実施するものです。